

小学校1年生～3年生の部

\* 作品は原文のまま掲載しています。

宮城県知事賞

ひかれそうになった事から

仙台市立南小泉小学校 三年 伊藤 優理

あぶないでしょ、気をつける。」  
 わたしがようち園生だったころの事です。お父さんとさん歩をしていた時、わたしは家の前の車道にとび出そうとしました。走っていた車がきゆうブレーキをかけました。その時わたしはけがをしなかつたけれど、運てん手のお姉さんにどなられました。どなられたとき、わたしはいやな気持ちになり、家の二かいで落ち込みました。わたしのお母さんは、車の運てんをする時、子どもが通る道路では、そりそりとして運てんします。子どもがいきなりとび出してきたり、歩道からはみだしたりすることがあつて、「わいからだそうです。お母さんは、わたしは、交通ルールをまもつても、交通ルールを守らない子どもがいたら、その子をひいてしまうでしょ。交通事故で子どもを死なせてしまつたりしたら、わたしはもうつらすぎてどうしたらいいのか分からない。」と言います。

そんな話をしたら、どなられた事を思い出して、心がざらざらしました。  
 この間、わたしは、お兄ちゃんと自てん車でトマトを買いに行きました。広場でいつぱい自てん車の練習をして、だいじょうぶ、もううまのれると思つたのですが、道路ではバランスをくずして、あまりうまのれませんでした。だから、自てん車をひいて歩いて帰ってきました。なぜなら、ぐらぐらのわたしの運てんでは、車やバイクの運てん手、ほかの自てん車や歩いている人みんなにめいわくがかかると思つたからです。  
 わたしはおぼえていませんが、あのときわたしをひきそうになつた運てん手のお姉さんは、さい後に、「でも、よかつた。」と言つたそうです。わたしを死なさなくてよかつた、のほかに、お姉さんがつらい思いをしなくてすんでホツとしたという意味もふくまれていると思います。  
 あのときわたしは言えなかつたけれど、お姉さんに「ごめんなさい、と思います。わたしは、毎日犬のさん歩に行きます。犬は、足がはまつてしまひそうなのがある所では、あなを上げようと車道に出そうになります。わたしは、犬が車道にとび出さないように、リードをみじかく持つて、まわりをよく見て、まわりの音をよく聞いて歩いています。  
 わたしは、道路でどうしたらいいか分からないときは、自分がけがをしなひ、人にいやな思いをさせない、という方をえらびます。みんながそうなら、少しでも交通事故がへるのかなと思います。

宮城県警察本部長賞

おかあさんといっしょにヘルメット

富谷市立日吉台小学校 二年 吉田 茉衣

わたしは、外であそぶことが好きな二年生です。自てん車につてとおくまで行くことができるようになりました。おばあちゃんにかつてもらつたお気に入りのむらさき色のヘルメットをかぶり、自てん車でいろいろなばしょへ行きます。おかあさんはうしろをせかせかとほしてつて行きます。さすがにおかあさんが大へんそうだなと思つていたら、きんじよの人に自てん車をゆづつてもらえたので、おかあさんといっしょに自てん車で、はしることができるようになりました。おかあさんは、てんいんさんに、夜中もはしるのなら、白色のヘルメットがあんしんだよ。」とおすすすめしてもらつたそうです。ヘルメットのベルトをカチツとして、さあ出ばつです。二人でぐんぐんと自てん車をこぎます。

花だんの花や、ちいきねこを見つけたら、立ち止まつて「かわいいね」と言います。人気のパンやさんは車がたくさん停まつていて、いつもは入ることができないけれど、自てん車でなら停められるので、おいしいパンをかうことができます。きんじよにはない、バスケットコートのある公園にも行けるし、こいがおよいでいるゆうほどうを見つけた。がいろじゆのじゆ名いたを読みながら走ると、もの知になれます。ジュンペリは甘ずっぱくてブルーベリににているあじがしました。  
 みやぎけん図書かんへは三十分い上かかりました。やつとついた。「つかれたけれど、そのぶんとうちやくしたときはうれしかつたです。  
 おかあさんといっしょに自てん車で出かけることはとてもたのしいです。おかあさんも楽しいと言つてくれます。だけど、本当はかなしい思い出があるから自てん車にが手だそうです。中学生のころにしん友を自てん車事故でなくしたからです。だから口をすっぱくしてわたしに自てん車のあんぜんなりの方を教えてくれます。そのうちの一つがヘルメットをかぶることです。ヘルメットは頭をまもる大切なものです。子どもも大人もヘルメットをしつかりとかぶつて自てん車でお出かけをたのしんでほしいです。

小学校1年生～3年生の部

\* 作品は原文のまま掲載しています。

宮城県教育委員会教育長賞

「こうつうじこぼうしについて考えたこと」

大崎市立古川第五小学校 二年 たかく あやと

ぼくは、こうつうじこぼうしについて考えたことが二つあります。  
 一つ目はしんごうに気をつけることです。赤しんごうや黄色しんごうの時は、どうろに出るはいけません。なぜかというと、車ははしつてきた時にぶつかって大きなケガをしたり、しんでしまうかのうせいもあるからです。しんごうの色が青でもすぐにはわかりません。なぜかというと、赤しんごうでもどうろをはしつてくる車がいるからです。ぼくは、右左右右を見て車がとまっていることをかくにんしてからわたります。  
 二つ目は、どうろをあるくときは、はどうろをあるきます。ぼくがいないどうろは、できるだけはじをあるきます。友だちや家ぞくとあるくときは、どうろにひろがらないように気をつけます。なぜかというと、車ははしつていようどうろをあるくと、ぼくがあらいてることに気づかれずにひかれてしまうかもしれないからです。  
 さいに、ぼくは、友だちといっしょに四人でとうごうします。ぼくのつう学ろには、はどうろやしんごうのあるおうだんぼどうろがほとんどありません。中には、車のおりが多い場所もあります。しんごうのないどうろをわたるときは、右左右右を見て車がこないことをしっかりかくにんしてからわたります。ぼくがすんでいる町で車をうんでんしている大人のたちは、とてもやさしく、どうろをわたろうとするぼくたちに気がつくつと、車をとめて、せうぞとわたらせてくれます。その気もちがいつもうれししいです。なので、どうろをわたつたあとには、ありがとうございますの気もちをこめておじぎをしています。このようにやさしい人たちがたくさんいる町なので、ぼくも車をうんでんしている人たちにめいわくをかけないよう、こうつうルールをまもつていきたいです。

一般社団法人 宮城県交通安全協会会長賞

歩行者にできる第一歩

大和町立吉岡小学校 三年 えんどう さな

みなさんは、歩行者の交通事故が多い時間たいとして、どの時間が多いと思いますか。事故が多い時間として、夕方から夜の時間が多いことが調べて分かりました。どのようにしたら、歩行者の事故をへらすことができるでしょうか。交通ルールを守るが、一番に大切ですが、ほかにわたしたちができることはないでしょうか。  
 みなさんは、はんしゃばんという物を使っていますか。はんしゃばんは、自てん車やランドセルについていたり、はんしゃばんを使っているキーホルダーやうん動ぐつ、タスキやシルさまさまな物があります。はんしゃばんのやくめとして、自動車のライトとうにはんしゃしてとても光つて見えるので、つけていない人よりもつけている人の方が自動車から発見されやすいとされています。どのくらいのがいがあるかというつと、夕方、夜にくらいふくそうをしているつと、ライトをつけた自動車からは、やく二十六メートルの場所から発見されるつと、はんしゃばんをつけているつと、やく五十七メートルとやく二倍ちがいがあつとが分かりました。自動車からの発見を早くするつとで歩行者の安全につながつと思ついます。  
 交通事故をへらすために、交通ルールを守るつと大切ですが、明るいふくそうやはんしゃばんなどを身につけるつとで、自動車からも見えやすくなり、夕方や夜の事故をへらすつとができるつと思ついます。  
 はんしゃばんなどを活用して、歩行者事故にまきこまれないうつにしていきたいつよう。

令和6年度宮城県交通安全ポスター作文コンクール入賞作品【作文の部】

小学校1年生～3年生の部

\* 作品は原文のまま掲載しています。

宮城県PTA連合会長賞

みんなでももろうこうつうルール

大崎市立古川第三小学校 二年 えんどう みなと

ぼくは、おうだんほどではないところから、どうろをわたっている人をみたことがあります。その人は、車がきていなかったから、わたってしまったのだとぼくは、考えます。

こうつうルールをまもらないと、大けがやしにつながってしまうことがあります。車をうんでんしている人は、車をうんでんすることが、こわくなったり、けがをさせてしまつて、もうしわけないという気持ちになつてしまうと思います。

ぼくは、おかあさんと、いつしよにあるいてかいものについた時おかあさんが、おうだんほどがとおいからはしつてわたつちやおう。」といいました。でもぼくは、おかあさんがけがやしないでしまふのがいやだったのでとめました。そして、おうだんほどをわたることにしました。

ぼくは、長く生きて、ともだちと元気にあそんだり、学校でべんきょうをしたりしたいので、これからも、おうだんほどをわたります。こうつうルールをみんなでもれば、せかいが、あんせんで、みんながしあわせになるとぼくは、思います。

作文の部 応募作品数

小学校1～3年生の部	17作品
小学校4～6年生の部	64作品
中学校の部	69作品
合計	150作品